

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北関東)	◎	都市型ホテル （支配人）	来客数の動き	・宿泊部門は相変わらず高単価、高稼働で推移している。料飲部門は、8～9月の時期は少し減っていたが、10～11月は受注件数、単価共に上昇している。
	○	百貨店（店長）	販売量の動き	・株価高などの影響が大きく、富裕層を中心に消費に力強さが戻ってきている。中間層も含めた全体の底上げとまではいかないが、若干改善している印象を受ける。
	○	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・3か月前と比べても、単価が上がっているためか、売上は好調である状況は変わらない。
	○	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・受注、販売共に増加傾向となっている。車両販売も全体的に動きが出てきている。
	○	一般レストラン（経営者）	単価の動き	・少しずつだが客単価が良くなっている。安いから食べるのではなく、高くても食べたい物を食べるという状況に戻ってきている。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・当日のフリー客の動きが良くなっている。
	○	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・小さい案件も増えてきている。
	○	タクシー（経営者）	お客様の様子	・昼も夜も動きが良かったので、前年同月と比べて、8%の増収である。
	○	通信会社（営業担当）	それ以外	・新内閣の発足後、積極財政に向けた動きがあるため、マインド的に消費意欲が高まる可能性がある。
	○	美容室（経営者）	来客数の動き	・新政権の政治改革推進とインフレ総合経済対策に期待している。
	○	設計事務所（所長）	それ以外	・新政権で株価も上がってきている。
	□	商店街（代表者）	お客様の様子	・幼稚園、小学校の運動会は、時間を短縮しながらも開催されている。前年より児童数が激減しているため、写真の注文数が不安である。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・祭りや運動会等があり、秋らしい天候にもなってきたが、主食の米の値段は高止まりしているため、皆考えながら買物をしている。当店の扱っている食肉も売行きが悪いのか、相場が少し下がってきている。野菜類も高いため、食卓には加工品が多いようである。
	□	一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・売上達成度について、3か月前と今月を前年同月比で比較すると、いずれも前年売上を1割ほど上回っており、ほぼ変わらない。観光業にとって10～11月は秋の行楽シーズンで繁忙期となるが、土日ごとに悪天候が多く、予想より売上は伸びていない。
	□	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・食料品の価格上昇に伴い、客単価、商材単価は前年を上回っているものの、買上点数、購買客数は減少し、売上は前年実績を確保できていない。一部に富裕層の動きは見られるものの、中間層の消費は依然として弱い。
	□	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・価格高騰の影響により、消費マインドの低下からの回復はなかなか見受けられない。全く購買しないわけではないものの、商品レベルや購入量を抑える傾向は継続している。また、事前に準備するより必要なときに必要な物という形で、直前になってから購買する傾向も最近気になっている。
	□	スーパー（総務担当）	来客数の動き	・来客数はほぼ前年並みに戻りつつある。商材単価は上がっているものの、客単価は前年並みで、ほぼ横ばいである。
	□	コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数は徐々に少なくなってきている。
	□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・この数か月の車両販売、修理等のサービス部門の売上が横ばいである。販売会議などで議論をし、売上がどうやったら伸びるかを考えている。

□	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・ここ2～3か月は売上はやや良い状態である。政権も代わって期待しているところだが、どうなるのか様子見という客が多い。ここに来て、販売、人の動き等、少し落ち着きがみえている。
□	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	お客様の様子	・来客数は変わらないが、店の滞在時間が短く、早く帰る客が多い。
□	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	単価の動き	・取引条件の見直しで、4月から引上げを認めてもらった取引先も多く、直近では、採算を確保できている。ただし、10月以降は、主要経費の人件費、食材費の大幅引上げが予定されているため、一気に収支が悪化する懸念もあり、更なる対応を進めていく必要に迫られている。
□	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・10月の販売は前年よりも増加しているものの、3か月前の販売も多かったため、変わらない。
□	旅行代理店（所長）	来客数の動き	・当地への来訪者数は、平日は外国人を中心に、週末は日本人も加わり、やや良い状況である。
□	旅行代理店（営業担当）	来客数の動き	・紅葉シーズンに入ったが、前年と比べて状況は悪い。現役世代の旅行客が少ない。
□	通信会社（社員）	単価の動き	・物価高の影響もあり、当社サービス料金についての問合せは増加傾向にある。政府主導の物価高対策に期待しているが、当社サービスの営業強化や解約防止対応による顧客の維持と継続的な顧客満足対策に努めたい。
□	通信会社（総務担当）	販売量の動き	・4月から販売量がずっと横ばいである。
□	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・最近、貸店舗の撤収、閉店が再び増えてきている。事務所関係も空室が目立っている。数か月前から街中のテナント募集も、ほとんど進展がない。
□	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	お客様の様子	・破損や緊急対応等、必要に迫られた内容の依頼が大半で、金額も余り高くない。快適さの向上や先を見越した比較的規模の大きいリフォーム等の依頼は少ない。
▲	一般小売店〔家電〕（経営者）	来客数の動き	・时期的なものもあるかもしれないが、客の反応が鈍いことは事実である。
▲	スーパー（商品部担当）	お客様の様子	・来店頻度、買上点数、客単価のいずれの数値を比較しても、前年割れが続いている。ただし、イベント時やポイント還元実施時等は、前年並みで推移している。客の節約志向がうかがえる。
▲	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・駅構内イベントの減少や観光客の動きが落ち着いている影響により、週末の来客数の伸びが鈍化している。
▲	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・10月に入っても暑い日が続いたため、秋物の立ち上がりはかなり悪かったが、中旬以降は急に涼しくなり、秋物がほぼ動かない状況が続いており、余り良くない。
▲	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・当店の客はほとんどが年金生活者であるため、この物価高が相当影響していて、買物に出るチャンスも少なくなっている。余分なものはお金ができたなら買うという環境のため、婦人服は最後の最後に回されている。物価高対策をきちんとしてもらわないと、営業が続けられない。
▲	通信会社（局長）	単価の動き	・政府の物価高対策はいまだ不透明で、物価だけが上昇している。今のままでは年末年始商戦にも影響し、消費は先細りしていく。
▲	ゴルフ練習場（経営者）	お客様の様子	・身の回りの物が値上がりしている。
▲	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・10月は中旬頃まで暑い日が続き、予約が伸び悩んでしまった。中旬以降は気温は落ち着いたものの、降雨等、天候に左右されている。
▲	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・首都圏ではマンション等の価格高騰の報道がされている一方、地方では不動産の動きが悪く、物価高騰のあおりで建築費、工事費等が上昇し、購入できない状態である。

	×	商店街（代表者）	お客様の様子	・中心街に隣接する橋の工事が長期化しており、踏切の廃止等、多大な影響を受けている。
	×	家電量販店（店員）	販売量の動き	・今月は全体で前年比99%となっている。好調な商材はパソコン本体で、サポート終了を受けた買換え需要の継続で280%の伸びである。ただし、大半の商材は大きく前年を下回っており、エアコンが68%、テレビは80%、冷蔵庫75%、洗濯機90%と伸びない。
	×	乗用車販売店（経営者）	それ以外	・相変わらず、消費マインドが非常に下がっている。
	×	住関連専門店（店長）	販売量の動き	・冬物商材の動向が顕著に悪く、客の財布のひもが固い。また、消耗品も付加価値のある高額商材は売れず、価格訴求のある安い物ばかりが売れている。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・10月は、ここ数年にないほど利用客が少ない。電車に乗っている人も少なく、降車してきてタクシーに乗る客は少ない。夜にタクシーを呼ぶ電話も少ないため、売上は2～3割減っている。
	×	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・期待していた連休や週末に降雨が多く、また、8月からの猛暑も長く続いたため、来園者は減少している。
企業 動向 関連 (北関東)	◎	—	—	—
	○	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・稼働時期に入り、順調に推移している。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新規の引き合いや来客数も増えており、動きが出始めている。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・当社は該当しないが、ガスタービンの受注が増え、取引先が外注先を探している。
	□	食料品製造業（経営者）	取引先の様子	・収まらない物価高で消費者の購買意欲が減退し、節約志向は相変わらず強いままで、改善の兆しがみえない。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先の様子、競争相手の様子について、ほとんどの会社で仕事量、受注量が非常に減少している。
	□	輸送用機械器具製造業（総務担当）	取引先の様子	・取引先に特段変化はなく、計画どおりに進んでいる。
	□	金融業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注減少、販売減少を懸念している客が多くみられる。
	□	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・年末に向けた広告出稿は、前年の2割減ほどで発注がきている。SNSの活用はもちろんだが、AIの利用等で、客側で文章を作成できる環境もあるため、外注率が下がっている。
	□	経営コンサルタント	それ以外	・街中や商業地への人出はふだんと余り変わりなく、個人消費も大きな変化はなさそうである。中小企業の業績も同様で、特段変化はない。
	□	司法書士	受注量や販売量の動き	・余り変化がなく、多少、良い状態が続いている。
	□	社会保険労務士	取引先の様子	・一般消費者の節約志向が強いため、個人相手の小売などは苦戦している。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年11～12月の受注量と比べると、2～3割少なくなっており、状況としてはかなり良くない。
	▲	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・天候も涼しくなり、冬物商材、特にエアコン、電気カーペット、ヒーター等の家電や寝具は、前年並みの輸送量を確保している。しかし、一部でシステム障害等により取引先の出荷が止まっていることもあり、輸送量全体の15%ほどが減少しており、利益確保も厳しい状態である。
	×	不動産業（管理担当）	それ以外	・物価上昇により仕入価格が毎月のように上がっており、その分を転嫁しようと値上げをしているが、追いつかない。また、求人を出しても応募が来ないため、恒常的な人手不足で、業務を新規受注することが難しくなっている。
雇用 関連	◎	—	—	—
	○	学校〔専門学校〕（副校長）	求人数の動き	・求人数は依然として増加している。人手不足はどの業界でもあるようで、しばらくは続きそうである。

(北関東)	□	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・小売、サービス関連の販売員については、募集がかなり増えている。インバウンドに関するものと、時期的に子供や家族の行事による販売員等の応援要請があったようである。購買力は全般的に伸びがみられ、特に、野菜等がやや動いている。また、米価は安くなったとはいえ、購買力の回復はゆっくりである。全体的には変わらないが、やや上向きである。
	□	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・50代以上の求職者は多いものの、企業側の求める条件とのギャップがあるため、大きな変動はない。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数を前年同月比でみると増減を繰り返している。
	▲	人材派遣会社 (管理担当)	採用者数の動き	・派遣のオーダーはあるものの、採用に至らないケースが多くなっている。
	×	—	—	—